

議会の新たな体制がスタート

令和6年5月臨時会が市長の招集により、5月17日に開かれ、選挙により新しい正・副議長が選出されました。また、各常任委員会の構成も変更がありました。

なお、正・副議長の選出に当たっては、透明性確保のため、候補者があらかじめ所信表明を行った上で選挙を行う立候補制を採用しています。



第72代副議長
丸岡 豊和

この度、副議長に就任し、その重責を改めて感じています。今年度は坂出市の新しいまちづくりが

具体的に動く年です。

4月には市民ホール前広場の整備が完了し、若い人たちがベンチに座って談笑する姿も見受けられるようになりました。市が目指す若い世代に選ばれるまちとしてのスタート地点に立ったのではないのでしょうか。8月には駅周辺の再整備を共に進める優先交渉権者が決まり、市民の皆様にお示しできる予定です。

一方で学校の再編整備、新火葬場の整備など、慎重な議論を重ねながらも早急な決定が求められる課題もあります。

二元代表制の一翼を担う議会として、市民の声に耳を傾け、市民のためのまちづくりを進めていく必要があると考えています。そのために、副議長として議長をサポートし、その職責を精一杯果たしていきますので、よろしくお願いします。



第71代議長
東原 章

議長として歴史ある坂出市議会のかじ取りを担うこととなり、身の引き締まる思いとともに、これまでの伝統を

継承しつつ、時代(市民)のニーズに沿った議会とすべく粉骨碎身の覚悟で務めていきます。

まずは、男女共同参画の観点や、女性の議員や職員が活躍していることを考慮し、議場での呼称「君」を変更します。

今後、有福市長の公約である坂出駅周辺から緩衝緑地にかけての整備により、その姿が大きく変わります。議会としても工事の安全、市民の安全、騒音や土ぼこりへの対策等を注視していきます。

また、坂出市の宝である子供たちを痛ましい交通事故や卑劣な犯罪、自然災害等から守り、市民全体で見守り育てる意識の啓発にも努めていきます。

最後に市民が身近に感じる議会、意見や依頼事等をしやすい議会を目指していきますので、これからも坂出市議会に対し、ご協力とご指導をいただきますようお願いいたします。

令和6年 5月臨時会の審議結果

議員数=18名 表決参加議員数=17名
※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案
(承認・同意)

専決

専決処分の承認について
(坂出市税条例の一部を改正する条例など) 2件

その他

坂出市監査委員の選任 など 2件

● 議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【提出議案等・審議結果】
をご覧ください。

可決

賛成16名
反対1名

市長提出議案

坂出市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案可決に **賛成**

鳥飼由衣、寒川佳枝、小笠原浩、植原 泰、山下真司、角野正明、丸岡豊和、山条真嗣、若谷修治、若杉輝久、茨 智仁、斉藤義明、楠井常夫、大藤匡文、前川昌也、大前寛乗

原案可決に **反対**

篠原光一

5月臨時会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市監査委員 山条 真嗣 ◎坂出市職員懲戒審査委員会委員 丸岡 豊和 前川 昌也 大熊 高弘